



第 1 回入間市小学校交流どか点ティーボール大会

競技の約束について

- 目的 どか点ティーボール大会を通して、小学生同士の交流と親睦を深め、心身の健全育成を図ることを目的とする。
- 目標 ①笑顔いっぱいティーボールを体感すること。
 ②ティーボールを通して、打つ、走る、捕る、投げるという運動の基本動作を楽しく学ぶこと。
 ③人との関わり方を学び、社会性を養うこと。
- 部門 小学 3 年生の部
 小学 4 年生の部
- チーム編成 7～9 名の選手と 2 名の保護者（または指導者）とする。
 ただし、チームは会場にて混成チームを編成する。
- 競技場 （競技場図参照）
 ①塁間の距離は、小学 3・4 年生 15mとする。
 ②塁はベース又はコーンとする。ただし、触塁はしないで外側を走る。
 ③本塁、バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径 1.5mに円を描くようにラインを引く。
 ④本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングコーンとする。
 ⑤本塁での得点は、バッターズサークルに打者が入ったときに得点とする。
 ⑥守備ラインは、一塁三塁と本塁二塁を結ぶ対角線が交わる点を中心とし、一塁の2m延長した地点から、三塁の2m延長した地点まで円を描くように引いたラインを「内野ライン」とする。
 ⑦「外野ライン」は、内野ラインから 5m延長した一塁側から三塁側まで、円を描くように引いたラインとする。
 ⑧「ホームランライン」は、本塁を中心に 30mとする。一塁側から三塁側まで、円を描くようにラインを引く。
 ⑨バッティングコーン後方 3m に打者チームベンチとして安全ラインを引く。

約束

- ①打者は、思いきりボールを打つ。
- ②打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。
- ③打者走者は、塁コーンの外側のしっかり全力で走る。
- ④守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備選手は「わたし」「ぼく」と声を出して捕りに行く。
- ⑤ボールを捕った選手は、本塁近くにいる保護者（または指導者）へ返球する。
- ⑥保護者（または指導者）は、ボールをバッティングコーンの上に乗せる。
- ⑦ボールをバッティングコーンの上に乗せたとき、打者の回った塁の数が得点となる。
- ⑧指導者（ティーボールティーチャー）と打者チームの全選手は、打者走者が一塁（ベース）コーンを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁なら「4点」、また一塁を回ったら（2周目）「5点」と大きい声で打者走者の得点を数える。
- ⑨打者チームの全選手は、本塁・バッティングコーン後方 3mの打者チームベンチライン（安全ライン）後方で応援する。
- ⑩内野手は 4 名～5 名とする。外野手は 3 名～4 名とする。
なお、守備選手は対戦チームと同数とする。

用具

- ①バッティングコーン 1 本。塁（ベース）コーン 3 本。
- ②ボール（11 インチインドア用ティーボール・オレンジ） 2 個（1 個は予備）
- ③フープかコーン 1 個（打者がバットを入れる）
- ④用具は、日本ティーボール協会公認用具（幼児用）とする。

備考

試合球、用具、試合方法など、要望があれば指導者を派遣します。

参考：競技場図

